

# 水産物初市の入荷数量

令和5年1月5日

## 1. 入荷予定数量(豊洲市場) \*下段( )は全市場入荷予定数量

年月日	令和5年1月5日 木曜(A)	令和4年1月5日 水曜(B)	前年比 A/B
入荷数量	805.8 (836.2) トン	874.6 (911.4) トン	92.1 (91.7) %

## 2. 主要品目の入荷予定数量(豊洲市場)

品目	入荷数量(トン)		
	令和5年 1月5日(A)	令和4年 1月5日(B)	前年比 A/B(%)
あじ	3.7	13.9	26.6
さば	4.8	7.7	62.3
いわし	2.8	5.7	49.1
するめいか	2.1	5.4	38.9
はまち	16.0	21.5	74.4
かき(むき)	4.3	2.8	153.6
冷凍めばち	36.4	35.8	101.7

## 3. 概況

本年初市の全市場の入荷予定数量は、前年比8.3パーセント減の836.2トンであった。

豊洲市場の鮮魚類の入荷は、前年と比べて12.2パーセント減の122.8トンで、相場は前年と比べて堅調。品目別では、アジが大幅上伸、サバは小安い、イワシは小高い、スルメイカは2割上伸、カツオ、メジは堅調、ブリが小幅上伸。

生鮮マグロ類の入荷は230本で前年(307本)より減少した。今年の最高価格は青森県大間産・生鮮マグロ(212.0kg)がkgあたり170,000円だった。冷凍マグロの入荷は、946本で前年(984本)より減少した。

天然物は大間をはじめとする青森産に加え、気仙沼、塩釜などの三陸産が豊富に出回ったが、北海道・戸井産が急減した影響から計192本と前年初市の233本を下回った。大間産はいずれも昨年に水揚げされストックされていた魚で、鮮度低下の目立つ並品が多かったことから、数少ない上品に人気集中した。一方、大間産と比べ鮮度評価の高かった三陸産は、高値こそつかなかつたが、順調に買い進まれた。

養殖物はわずか2本(前年13本)と少なかったが、せりは不成立だった。

### 【連絡先】

<上記内容に関する事>

中央卸売市場

豊洲市場水産農産品課 水産品担当

03-3520-8261

<ホームページに関する事>

中央卸売市場

総務課 広報担当

03-5320-5720